

にいがた

新潟県老人福祉施設協議会広報誌

2015.7.30 NO.24

ろうしきょう NEWS

■2015年度新潟県老人福祉施設協議会新役員の紹介

卷頭シリーズ・元気な笑顔が素敵!! すまいる介護ウーマン



1

担当する利用者様とおやつタイム。
本当の孫とおばあちゃんのように、
話がはずむ。「彼氏はまだなの?」
「できたらすぐに紹介するよ(笑)」



2

広い敷地に特養、デイサービスなどが並ぶ複合施設。滝沢さんの勤務する特養の居室ゾーン。比較的新しい建物は、明るい空間が印象的だ。

勤務した最初の頃は、焦って、自分で精いっぱい。

一番大事。
ご家族が安心して過ごせることが
特養は終の棲家。ご利用者と

すまいるウーマン 滝沢彩可さん

○所属 特別養護老人ホーム 横雲の里
○経歴 1987年7月生まれ 新潟市江南区出身。新潟中央高校～新潟医療福祉カレッジ卒業後、現職。介護士(介護福祉士、社会福祉主事)。

○趣味 スポーツ観戦、音楽鑑賞



3

居室ゾーンから明るく開放的なホールを望む。ホールでは行事やレクリエーションも盛んに開催され一角には置の仏間もある。毎日仏壇に手を合わせる方も。



特別養護老人ホーム 横雲の里

○運営 社会福祉法人 中蒲原福祉会
○特別養護老人ホーム 50名
ショートステイ 46名
デイサービス 40名
○新潟県新潟市江南区阿賀野1-2-1
TEL0250-61-5555

■モチベーションを生んだ言葉 勤めたばかりで不安だった頃、先輩に言われた「あなたなら大丈夫。今の気持ちを忘れず、あなたのままでいてね」。気持ちがずっと楽になりました。その後、利用者様と顔なじみになれたら、「あなたを待つてますよ」「顔を見れてよかったです」と言って頂けるようになりました。これも忘れられません。担当している利用者さんが弱っていく姿を見て、つらい時もあります。看護師さんなど他のスタッフともよりよいケア方法を相談して、いい笑顔を見せて頂ける時はうれしいですね。同時に一日一日の重さを教えて頂いた気持ちになります。

■今後の自分 今の職場は楽しいので、長く働けるよう利用者様一人一人の思いを大切にできる介護士になりたい。将来は障がい者の部署なども経験できたらと思います。

■就職の理由 もともと福祉関係など、人と関わり、学校生の時に障害者施設で実習があったのですが、職員の方が楽しそうに活動をしているのを見て、こういう仕事なら、将来は高齢者だけでなくいろんな分野に挑戦していく、様々な施設を運営している今の職場を選びました。

■仕事のポイント 初めは利用者様とどう接していくのか、とまどいだけでした。信頼関係を築くのは容易ではなかったです。大事なのは、コミュニケーションと観察力。言葉で伝えるのが苦手な方もおられますので、出勤したら一人一人に声をかけて、お顔を観察しています。ここは皆さんの「終の棲家」なので、なにより安心して暮らせることが大事だと思っています。

「あなたなら大丈夫」が救いになった

組織基盤を強固に

会長 市井栄吉



5月29日の総会において理事に選任いただき、6月2日の理事会で再び会長の重責を担わせていただくことになりました。

この二年間は一般社団法人になったばかりということで、戸惑いもありましたが、多くの会員事業所の皆様のご参画、ご協力を得て種々の事業を滞りなく実施してまいりました。また、ちょうど介護保険制度改正、報酬改定のさなかにあつたため、全国老施

協の活動にも少し関わってきました。

今、介護業界は社会福祉法人の在り方問題も含め、持続可能な制度構築、地域包括ケアの推進、介護人材の不足等、様々な課題に直面しています。また全国老施協では、すでに三年後の報酬改定を見据えて活動を始めています。

県老施協では、事業の一層の充実を期し、組織基盤の強化に努めるとともに費用の効率化を図り、マイナス改訂の中から安かない会費のご負担をいただいていることの意義を念頭に、全国老施協、県社協等の団体との連携を強化して行くこととします。何より、地域の高齢者介護を担う各事業所が継続、安定した事業を進めていくこと、それによって一人ひとりの高齢者が安心して老後を過ごせることが大切です。災害対策も然りです。

当面は29年4月の「新しい総合事業」の本格実施に向け、特養、デイサービス等、私どもの既存事業所の果たす役割を再検証しなければと考えています。

今後ともよろしくお願ひいたします。

新役員の紹介

副会長に就任して

副会長 中里雅之



このたび、大役である副会長に選任されました。元来力不足であります。会員の皆さまのご支援とご協力をいただきながら、高橋副会長とともに会長を助け、会の運営に尽力して参りたいと存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

加藤前副会長の功績は誠に大きく、後任としては足元にも及びませんが、会の目的である高齢者福祉事業及び介護保険事業の運営と経営に関する調査研究、研修の実施、情報提供、関係機関との連絡調整など、社会保障制度の見直し・少子高齢化社会の進展による介護人材不足の深刻化など、ますます厳しい外部環境下にありますが、全力で取り組んで参ります。

どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

業務執行理事に就任して

理事 佐藤清八



このたび理事に就任させていただきました、村上市にあります特別養護老人ホームさつき園施設長の佐藤と申します。新潟県老施協理事という大役を担い、その責任の重大さに身の引き締まる思いをしております。私は、今年の3月まで第1ブロック部会部会長を4年間務めさせていただきました。市井会長のもと、その経験を活かし県老施協のために微力ではありますが役立ちたいと考えておりますので、会員皆様からの温かいご支援、ご協力をお願ひいたします。

業務執行理事に就任して

理事 加藤真由美



このたび理事に就任させていただきました。平成27年の介護報酬改定は厳しい内容であり、社会状況が目まぐるしく変化する中で我々介護業界にとっては試練というべき時代に直面しています。この時期に新潟県老施協理事という大役を担うこととなり責任の重大さに身の引き締まる思いです。

皆様方からのご指導ご鞭撻を頂きながら微力ではありますが、誠心誠意お手伝いをさせていただきたいと思いますので、今後ともご高配を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

業務執行理事に就任して

理事 山田淳子



高齢者福祉の世界に関わって30年を超えるこの厳しい介護報酬の改定という時期に、理事に就任ということになりました。老施協の生活相談員の職種別部会があった当時から役員として、故藤ノ木施設長、故吉澤施設長、故小山施設長のおられる中で、いつも指導・助言をいたしました。その信念は、老施協の歴史と共に息づいていくことだと思います。私自身も、ご利用者の「人としての幸せ」を意識して日々仕事をさせていただいております。

今後は、法人税の改革、本国会での社会福祉法人制度改革という大きな転換期を迎えようとしています。会員の皆様のご指導をいただきながら誠心誠意取り組んでまいります。

業務執行理事に就任して

理事 松井 裕



このたび、老施協第5ブロックより理事として就任することとなりました。昨年度の県大会では、多くの会員の皆様からご協力を頂き感謝申し上げます。

昨今の福祉を取り巻く環境は、決して明るいものではありませんが、市井会長をはじめ、理事・会員の皆様と一緒に老施協が目ざす福祉の向上と良質な利用者の生活の提供について、微力ながらお役にたてればと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

セミナー写真アルバム

平成27年度介護力向上講習会【新潟分校】

4月10日(金)～来年2月5日(金)まで計6回

自立支援を実現するための2ヶ年で1セットとした講習も今年は2年目。昨年は「水分ケアと排泄・歩行」を中心としておりましたが、今年は「認知症ケアと常食化」についてとなります。今年も主任講師に国際医療福祉大学大学院 教授 竹内孝仁氏をお迎えし、副講師も昨年に引き続き、株式会社サンケイビルウェルケア 根岸広英氏から厳しく且つ優しいご指導をいただきながら22施設31名が日中おむつ使用率ゼロ%を目指しています。



国際医療福祉大学大学院 教授
竹内孝仁氏

株式会社サンケイビルウェルケア
運営統括部機動支援課課長
根岸広英氏

● 2年目の受講をされている特別養護老人ホームジェロントピア新潟さんにお聞きしました。

介護力向上講習会新潟分校に感謝して

私は元々音楽家で、もう20年前になりますが音楽療法の実践経験から「QOLを大切にした音楽溢れる施設を創りたい」と、福祉の仕事を志しました。

介護の現場で施設長としてケアの方向性に悩んでいた時に出会ったのが竹内理論です。「経管から常食へ」「おむつはゼロに」という竹内孝仁先生の提言は、はじめは信じられませんでした。しかしながら講演をお聴きし、「専門家としての介護職員を育て、特養全体の介護の質を向上させる」という先生の熱い思いには大いに共感を覚え、「この先生のもとで勉強したい」と思ったのです。

一昨年までは東京まで行かなければならなかったのが県老施協様のご尽力のおかげで、新潟に居ながらにして勉強ができるようになりました。何とありがたいことでしょう。

ジェロントピア新潟では昨年は1名、今年は3名で参加しています。改善すべき点は多々ありますが、平均水分摂取量が1,000mlから1,200mlへと向上し、肺炎で入院する方が無くなりました。これはご利用者にとって本当に喜ばしいことです。

これからも竹内先生、根岸広英先生という素晴らしい講師にご指導いただけることに感謝し、一步進んだケアをチーム全員で取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人
ジェロントピア新潟 理事長
(特養施設長兼務)
松田 美穂



介護力向上講習会に参加して

はじめに私が介護力向上講習会に参加しようと思った理由は、介護という業務についてから、ご利用者の方の残存機能を引き出してあげたいと思っていたことや下剤の服用で、夜間、眠れないといったご利用者の声を聴いた時に下剤の服用を軽減してあげることはできないかと業務を通じて感じていたことがきっかけで参加しました。

実際に講習会に参加し、下剤を外すことは簡単な事ではなく水分、運動、食事、排泄4つの基本ケアがしっかりと行えていないとできないという事を改めて学ぶ機会となりました。

講習会に参加して、取り組みを始めたばかりである為、ご利用者1人1人に合わせた個別ケアを大切にしていきたいと感じました。



特別養護老人ホーム

ジェロントピア新潟

半間 奈菜

▲写真左から、辺見隆典さん、野本亜紀美さん、半間奈菜さん。

5月29日(金)

第1回管理者研修会



- 2017年度①後期高齢者廃止②組合健保公務員療支援金の負担の引き受け
- 2018年度①国保運営方に変更、②食事代自己の健康増進、予防に奨励

服部メディカル研究所 所長 服部万里子様より「地域包括ケアシステムでの社会福祉法人の役割」ということでご講演をお願いいたしました。介護保険法改正と社会福祉法人への影響、27年度報酬改正の方向性を交え、医療・介護・リハビリ・看護の連携の重要性等を明快なテンポでお話をいただきました。

平成27年度新潟県主任介護支援専門員研修

5月18日(月)～7月24日(金)

主任介護支援専門員研修が11日間の日程で開催されました。この研修は介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を持つ介護支援専門員が対象で、介護支援専門員に対して適切な指導・助言ができる内容だけでなく、事業所における人事・経営管理の基礎知識も課目に組み込まれています。今年度多くの申し込みがあり、厳正な抽選のもと受講者90名が決定しました。

地域包括ケアシステムを実現するため、主任介護支援専門員に求められる役割はさらに重要になります。



第21回新潟県老人福祉施設研究大会

第2ブロック
新潟市開催

9月2日(水)～3日(木)開催予定

**第21回
新潟県老人福祉施設研究大会
「共に生きる、共に目指す!」
～高齢者福祉の担い手としてできること～**

日程 平成27年9月2日(水)▶3日(木)

会場 新潟市ANAクラウンプラザホテル新潟

記念講演 I 9/2(水) 14:00～15:30
「今、私たちは何をすべきか」
解説者 東京大学名誉教授 養老孟司氏

記念講演 II 9/2(水) 15:45～17:00
「福祉介護職や
介護支援専門員との
付き合いの方について」
解説者 日本介護支援専門員協会会長 鷲見よしみ氏

主催 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会(電話 025-281-5534)
後援 新潟県
新潟県人新潟県社会福祉協議会
新潟市
新潟市社会福祉協議会
新潟県医師会

一般の方が【記念講演】に参加される場合には、入場整理券が必要となります。

9月2日(水)～3日(木)の日程で第21回新潟県老人福祉施設研究大会が開催されます。

今年のテーマは「共に生きる、共に目指す！～高齢者福祉の担い手としてできること～」です。初日は式典と記念講演、第2日目に5分科会を設け日々の実践成果等を討議し学びを深めます。多数の皆様の参加をお待ちしております。

分科会

- 第1** 社会福祉法人の経営
- 第2** デイサービスの経営
- 第3** 介護と医療の連携
- 第4** 認知症ケア
- 第5** 人財育成の基本的視点

祝 おめでとうございます

皆様からの推薦をいただき、一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会 会長表彰受賞者が決定いたしました。今年度は207名になります。決定通知は6月16日に所属事業所宛に発送済みです。表彰式は9/2(水)の県研究大会の式典で行います。勤続15年、おめでとうございました。

地域に求められる施設として

小千谷市養護老人ホーム 園長

杵渕まゆみさん

●施設長リレーコラム●



養護老人ホームは新潟県内に17施設あり、老人福祉施設の先駆け的存在としてその役割を担ってきました。措置施設として、主には行政が設置した施設が多く運営してきましたが、平成15年に地方自治法の改正により指定管理者制度が導入され、県内でも近年指定管理者への移行施設が増え、中には直営となった施設もあります。

小千谷市養護老人ホームは、平成16年4月より小千谷北魚沼福祉会が指定管理者として管理運営してきました。施設の歴史は古く昭和13年に救護院として開設され、地域で生活することが困難な高齢者の入所施設として役割を担ってきました。平成18年には制度改正により、養護老人ホーム入所者も介護保険サービスを利用する事が出来るようになりました。当施設もこれを機に、介護保険事業である外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業を開始しました。現在50名定員中、15名前後の方が介護サービスを利用しており、介護度4・5の方も�数



要介護者にも使い易いトイレに改修。 介護技術研修会の様子。

事業所所在地	新潟県小千谷市小栗田2732番地6
運営事業者	社会福祉法人 小千谷北魚沼福祉会
事業所の種類	養護老人ホーム
定 員	50名
連絡先等	TEL 0258-83-2196 FAX 0258-82-9010

名います。これに伴い設備面では、居室や食堂を畠からフローリングに、排泄介助し易いトイレに、改修等利用者が使い易い環境に改善してきました。

また家族間のトラブルやネグレクトの問題による入所者が相次いでおり、養護老人ホームの役割を再認識しています。職員は多機能に求められる役割を担う為に、利用者のニーズに応えられる様に毎月研修会を行っています。

また、利用者が施設に入所されても、個々の生き甲斐や生活習慣等を大切にし、社会との繋がりを断ち切ることの無いように、支援させていただいている。更に、認知能力の低下等により財産管理が困難な利用者への権利擁護制度等の利用に向けて対応を行っています。これまで、地域交流も行事等を通じて積極的に行ってきました。今後も地域に必要とされる施設として、更に地域に貢献できる事は何かを模索し、努力を重ねていきたいと考えています。



✿お花見会✿ 近隣施設の利用者とも交流。



アルパカ来園♪
みんなの笑顔が
あふれます♪



新事務局長挨拶 神田 隆明

4月1日より、長谷川前事務局長の後任として新潟県老人福祉施設協議会に参りました。身に余る大役ではございますが、老人介護の現場である地域のニーズに応える活動を実施し、費用を負担して頂いております会員の皆様に忠実な運営を行う所存です。

取り分け、今年度から始まりました新しい総合事業に付きましては、

研修・セミナー・研究大会などを通じてタイムリーに発信し、本会会員様の事業経営上の問題、介護サービスの向上、職員の皆様のスキルアップに寄与する推進を心掛けます。

また、高齢者福祉・介護の増進に積極的な役割を果たすため、新潟県や全国老施協などと連携して、組織基盤の強化に努めます。全力を尽くして会員の皆様のお役に立ちたいと

考えておりますので、変わらぬご指導をお願い致します。

